

各教育事務所の調査結果

阿蘇教育事務所

- 1 教科に関する調査結果と分析
- 2 質問紙調査結果と分析
- 3 今後の取組

1 (1) 小学校の成果と課題

成 果

国語 成果が見られた内容

学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことができていること(招く)

関連問題 A1-1

目的に応じ,中心となる語や文を捉えることができること

関連問題 B2 -ア,イ

算数 成果が見られた内容

180度よりも大きい角のおよその大きさを,2直角,3直角を基に捉えることができること

関連問題 A4(1)

式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することができること

関連問題 A8

理科 成果が見られた内容

メダカの雌雄を見分ける方法を理解していること

関連問題 2(1)

課 題

国語 課題が見られた内容

新聞のコラムを読んで,表現の工夫を捉えることができていること

関連問題 A5二

目的や意図に応じ,取材した内容を整理しながら記事を書くことができること

関連問題 B1三

算数 課題が見られた内容

示された情報から基準量を求める場面を捉え,比較量と割合から基準量を求めることができること 関連問題 B2(2)

長方形の面積を2等分する考えを基に,分割された二つの図形が等しくなる理由を記述することができること 関連問題 B5(1)

理科 課題が見られた内容

析出する砂糖の量について分析するために,グラフを基に考察し,その内容を記述できること

関連問題 3(6)

1 (2) 中学校の成果と課題

成 果

国語 成果が見られた内容

語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができること(気象予報士)
関連問題 A 9 三ア
表現の工夫について自分の考えを持つことができること
関連問題 B 3 一 二

数学 成果が見られた内容

比の意味を理解していること
関連問題 A 1 (1)
問題場面における考察の対象を明確にとらえることができること
関連問題 B 2 (1)

理科 成果が見られた内容

天気の記号から風力を読み取ることができること
関連問題 2 (1)

課 題

国語 課題が見られた内容

単語の類別について理解すること(「青い」と「青さ」の品詞として適切なものを選択する)
関連問題 A 9 四
複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くことができること
関連問題 B 2 三

数学 課題が見られた内容

具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくること
関連問題 A 3 (3)
事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明することができること
関連問題 B 1 (3)

理科 課題が見られた内容

他者の考えを検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明することができること 関連問題 2 (3)

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位 (%)

| | 質問項目 (県と全国との差が顕著な17項目を抜粋) | 小学校 | | | 中学校 | | |
|---------------------|---|------|------|------|------|------|------|
| | | 管内 | 県 | 全国 | 管内 | 県 | 全国 |
| 等 関心 | 1. 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか | 66.4 | 65.5 | 65.8 | 62.0 | 56.3 | 58.0 |
| (言語活動・学習状況) 学習状況 | 2. 友達の前で、自分の考えや意見を発表することは得意ですか | 48.1 | 50.2 | 51.2 | 40.3 | 43.6 | 49.6 |
| | 3. 5年生(中学2年生)までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか | 73.8 | 74.7 | 74.2 | 74.8 | 65.1 | 65.7 |
| | 4. 5年生(中学2年生)までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか | 94.2 | 89.0 | 87.1 | 92.7 | 83.1 | 73.7 |
| | 5. 小学5年生(中学2年生)までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか | 81.3 | 77.6 | 75.3 | 71.1 | 60.1 | 59.3 |
| 学習時間等 | 6. 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師も含む) 1時間以上の合計 | 60.0 | 63.8 | 56.7 | 81.9 | 75.7 | 68.7 |
| | 7. 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか | 62.3 | 61.2 | 62.8 | 47.4 | 43.8 | 48.8 |
| | 8. 家で、学校の授業の予習をしていますか | 37.7 | 41.3 | 43.4 | 30.4 | 29.9 | 35.3 |
| | 9. 家で、学校の授業の復習をしていますか | 65.3 | 60.3 | 54.5 | 53.0 | 53.0 | 52.0 |

2 (1) 児童・生徒質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。

単位 (%)

| | 質問項目 (県と全国との差が顕著な17項目を抜粋) | 小学校 | | | 中学校 | | |
|------------|---|------|------|------|------|------|------|
| | | 管内 | 県 | 全国 | 管内 | 県 | 全国 |
| 生 学 活 校 | 10.あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合っ て学級のきまりなどを決めていると思いますか | 82.8 | 78.3 | 80.5 | 79.0 | 77.1 | 78.3 |
| 習 生 慣 活 | 11.普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォン で通話やメール、インターネットをしますか(2時間より少ない+持っていない) | 93.2 | 92.2 | 90.2 | 77.6 | 75.3 | 68.4 |
| 地 域 | 12.今住んでいる地域の行事に参加していますか | 75.1 | 73.5 | 66.9 | 48.0 | 40.8 | 44.8 |
| 社 会 | 13.テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか | 84.5 | 82.8 | 84.3 | 84.0 | 82.8 | 83.9 |
| 将 来 | 14.将来の夢や目標を持っていますか | 87.5 | 87.6 | 86.5 | 71.7 | 71.4 | 71.7 |
| 自 尊 意 識 | 15.ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか | 94.2 | 94.4 | 94.5 | 93.3 | 93.9 | 94.2 |
| | 16.難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか | 75.5 | 75.9 | 76.4 | 64.7 | 64.2 | 68.8 |
| 意 規 識 範 | 17.いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか | 97.7 | 96.8 | 96.2 | 94.2 | 94.7 | 93.7 |

2 (2) 学校質問紙調査結果

数値は、選択肢「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」などの肯定的評価の合計を示す。
単位(%)

| | 質問項目 (県と全国との差が顕著な18項目を抜粋) | 小学校 | | | 中学校 | | |
|------|---|------|------|------|------|------|------|
| | | 管内 | 県 | 全国 | 管内 | 県 | 全国 |
| 向上力 | 1. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度に、「朝の読書」などの一斉読書の時間を設けましたか | 65.2 | 46.7 | 61.1 | 58.3 | 56.2 | 80.2 |
| 指導方法 | 2. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れましたか | 100 | 97.0 | 93.9 | 100 | 91.1 | 90.9 |
| | 3. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか | 95.7 | 96.1 | 94.1 | 100 | 85.8 | 81.9 |
| | 4. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童(生徒)一人一人のよい点や可能性を見付け、児童(生徒)に伝えるなど積極的に評価しましたか | 95.7 | 96.4 | 96.7 | 100 | 96.4 | 95.8 |
| 言語活動 | 5. 調査対象学年の児童(生徒)は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか | 78.3 | 63.0 | 66.1 | 83.3 | 55.6 | 67.3 |
| | 6. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか | 100 | 95.3 | 94.3 | 91.7 | 92.9 | 92.1 |
| | 7. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、授業において、児童(生徒)自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか | 82.6 | 76.0 | 73.0 | 75.0 | 59.2 | 63.3 |
| | 8. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、資料を使って発表ができるよう指導しましたか | 95.7 | 89.0 | 85.9 | 91.7 | 76.3 | 78.1 |
| | 9. 調査対象学年の児童(生徒)に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか | 91.3 | 94.2 | 91.9 | 91.7 | 85.2 | 87.8 |

2 (2) 学校質問紙調査結果

数値は、選択肢「よく行った」「どちらかといえば、行った」などの肯定的評価の合計を示す。

単位 (%)

| | 質 問 項 目 (県と全国との差が顕著な 1 8 項目を抜粋) | 小学校 | | | 中学校 | | |
|-------------------|---|------|------|------|------|------|------|
| | | 管内 | 県 | 全国 | 管内 | 県 | 全国 |
| 援 特 教 別 育 支 | 10. 特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫 (板書や説明の仕方、教材の工夫など) を行いましたか | 95.7 | 93.9 | 89.2 | 100 | 93.5 | 86.3 |
| 導 個 別 指 | 11. 調査対象学年の児童 (生徒) に対して、算数・数学の授業において、前年度に、習熟の遅いグループに対して少人数による指導を行い、習得できるようにしましたか | 39.1 | 40.1 | 32.4 | 66.7 | 37.9 | 25.3 |
| 家 庭 学 習 | 12. 調査対象学年の児童 (生徒) に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、調べたり文章を書いたりしてくる宿題を与えましたか (国語 / 数学共通) | 73.9 | 78.4 | 79.5 | 75.0 | 61.6 | 66.1 |
| | 13. 調査対象学年の児童 (生徒) に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか (国語 / 算数・数学共通) | 95.7 | 84.8 | 87.1 | 91.7 | 77.5 | 78.5 |
| 調 査 等 の 活 用 | 14. 平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果を、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか | 100 | 97.8 | 95.8 | 100 | 94.1 | 93.2 |
| | 15. 平成 2 6 年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか (学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む) | 82.6 | 86.5 | 88.0 | 100 | 81.7 | 83.9 |
| | 16. 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか | 100 | 97.3 | 91.9 | 100 | 92.9 | 87.9 |
| 職 員 研 修 | 17. 模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか | 100 | 96.6 | 95.5 | 100 | 92.4 | 87.5 |
| | 18. 授業研究を伴う校内研修を前年度に何回実施しましたか (年間 9 回以上) | 56.5 | 70.4 | 49.4 | 66.7 | 56.3 | 34.5 |

2 (3) 質問紙調査に関する分析

全ての小中学校で、授業の最後に学習を振り返る活動を実施している。

全ての小中学校で、模擬授業や事例研究など実践的な研修を行っている。

ノートに「学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書く」ことについては、県・全国平均を上回っており「授業改善に向けたQ&A別冊リーフ」（阿蘇教育事務所作成）を使用した指導の成果と考えられる。

小中学校とも友達の前で自分の考えや意見を発表することを得意と感じている児童生徒の割合は、県・全国平均に比べて低い。授業の中に発表の機会を多く取り入れる必要がある。

小学校では国語の勉強が「好き、大切、分かる」の項目で県・全国平均を下回っており、昨年度からの改善が図られていない。中学校では国語、数学、理科の勉強が「好き、分かる」の項目で県・全国平均を下回っており、基礎的・基本的事項を定着させるための取組は充実しているが、関心・意欲を高める工夫や達成感のある授業づくりには課題がある。

自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組むことは、中学校は県・全国平均を上回ったが、小学校は県・全国平均を下回った。授業の中でめあてに即して考えを深める活動を効果的に取り入れていくよう指導する必要がある。

3 今後の取組

「肥後っ子輝きナビ」による課題分析と、全国学力・学習状況調査過去問題集等の活用を徹底する。

管内の課題に対応するよう「授業改善に向けたQ&A別冊リーフ」（阿蘇教育事務所作成）の活用を図り、「好き」「分かる」授業づくりの4つのポイントを徹底する。

市町村教育委員会と連携し、学校の課題に応じた改善対策を明確にするための指導主事派遣を行う。

学校訪問の際、以下の点を指導する。

- ・「めあて」と整合した「まとめ」がなされているか。
- ・授業の「めあて」に沿った「学び合い」が効果的に実施され、自分の考えを深めたり、広げたりする指導がなされているか。
- ・1時間の授業で、適用問題まで確実に行われているか。
- ・家庭学習の方法、内容が適切であるか。

各学校の学力向上の検証改善サイクルの取組状況を把握し、確実な取組がなされるよう指導するとともに好事例を管内に広めていく。

質問紙調査項目で、学力との相関が高いとされた項目についての各学校の状況を把握し、適切な指導を行う。